

郡上農林事務所の普及活動状況 令和6年5月31日現在

今月の重点活動

■夏だいこん 市場関係者と情報交換会を開催

夏だいこんを生産出荷する「ひるがの高原だいこん生産出荷組合」は、令和6年作の出荷前に、岐阜、愛知、大阪の各市場を訪ね、生育状況、産地規模、出荷見通しなどを主とした情報交換を行った。

近年、様々な品目が高温の影響を受けているが、夏だいこんも同様に栽培が難しくなっている。このため、他産地は栽培面積を縮小する傾向にある。このような中、当組合では栽培面積が微増傾向で、一層の高品質化と収量増加に向けた取組みを行っており、市場関係者からは従来以上に入荷を期待する声が聞かれた。

農業普及課は、本交換会で産地情報を提供するなど開催支援をするとともに、今後も現地における技術指導を中心に鋭意取組んでいく。



【市場関係者との情報交換】

郡上の農業・農村を支える人材育成

■指導農業士 役員会で令和6年度の活動計画を検討

郡上指導農業士会では、5月9日に役員会を開催し、令和6年度の活動計画の検討を行った。役員会では、郡上で開催される中濃ブロック指導農業士合同研修会等の年間の活動計画やファームステイへの受入、新規指導農業士の掘り起こし等の検討を行った。また、県指導農業士連絡協議会の活動情報の共有も行った。

農業普及課では、これからも関係機関と連携を図りながら郡上地域の農業担い手リーダーである指導農業士会の活動の支援を行う。



【役員会の様子】

■就農支援 「ぎふアグリチャレンジフェア」で就農相談

農業普及課は、郡上地域への就農希望者を募集するため、5月25日に岐阜市で開催された就農相談会「ぎふアグリチャレンジフェア」に中濃地域就農支援協議会の一員として参加した。当日は県内18団体から出展があり、13時から16時まで各ブースにおいて就農相談に応じた。

中濃地域就農支援協議会のブースには3組4名の相談者が訪れ、研修等の就農支援体制について熱心に耳を傾けていた。

農業普及課では、新規就農者確保に向けて募集活動を継続していく。



【相談に応じる中濃地域
就農支援協議会】

郡上農畜水産物のブランド展開

■夏秋いちご 夏秋いちご栽培研修会の開催と現地試験系統の配布

ひるがの高原いちご組合の勉強会が5月8日に開催された。農業普及課からは、技術情報の「いちご通信」を配布し、定植1か月後までの栽培管理やGAPの意義について説明した。

また、研修会に併せて農業技術センター野菜部からは、今年度現地で行う試験系統苗の提供とその系統の特徴や育苗時の農薬使用履歴について説明がされた。

農業普及課では、高品質安定生産に向けた栽培技術等の生産支援や試験研究機関と連携した品種系統試験を継続して実施する。



【試験系統苗の説明】

■夏秋トマト トマト部会地区別研修会を開催

郡上園芸特産振興会夏秋トマト部会の地区別研修会が5月15日と16日に開催された。郡上地域の標高は300～950mと幅広く、各地域の状況に合わせた研修会を開催する必要から、4地域に区分し地域毎に現地研修会を実施している。

研修会は、普及指導員とJA営農指導員から、定植後～梅雨時期の基本事項（かん水、追肥、着果管理等）について説明を行った。

農業普及課では、研修会だけでなく個別巡回指導も行い栽培管理や病虫害防除の技術支援を行い産地全体の収量向上を図っていく。



【研修会の状況】